

伏見とうがらし露地栽培での 増収と障害果軽減効果のある栽培技術 (農林センター)

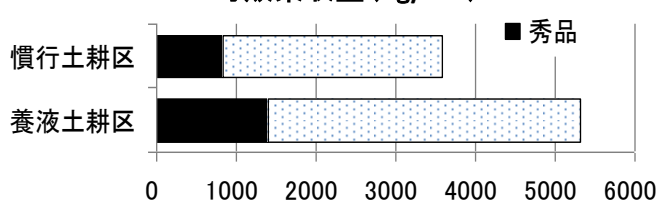
- 養液土耕や青色被覆資材の導入により、秀品収量・可販果収量が増加します。また、青色被覆資材により障害果率が減少します。

養液土耕の効果

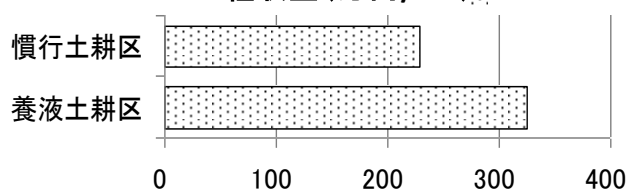
秀品収量、可販果収量が増加し、増益となる。

(H22, 所内試験結果)

可販果収量 (kg/10a)



粗収益 (万円/10a)



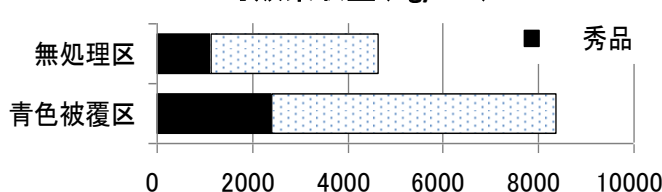
※養液土耕の初期費用は約6万円

青色被覆資材の効果

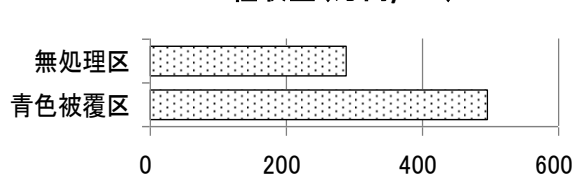
秀品収量、可販果収量が顕著に増加し、増益となる。

(H24, 現地試験結果、慣行土耕)

可販果収量 (kg/10a)



粗収益 (万円/10a)



※青色被覆資材費用は約4.5万円/年

- 青色被覆により障害果率が減少

	障害果率* (%)	障害果の内訳 (%)		
		尻腐れ	アトシアン	日焼け
無処理区	25	22	9	69
青色被覆区	11	39	6	55

※障害果率=障害果収量/総収量×100



↑高さ2mに株全体を覆うように設置

表 7~9月の試験地の平均気温

	平成24年	平年値※
7月	29.1	25.4
8月	29.4	26.7
9月	25.5	22.4

※1981~2010年の福知山市の平均値

(試験場所: 福知山市岩間)

- 養液土耕導入により増収
- 青色被覆資材 (遮光率15%) 導入により顕著に増収

- 養液土耕の初期費用 (ポンプ、液肥混入器等) は約6万円と安価です。導入には、電源があり、水質が良い場所が条件です。
- 青色被覆資材は、日照条件のよい場所 (平野部) で効果が高いと考えられます。導入費用 (被覆資材、支柱パイプ等) は約4.5万円/年と安価で、日照以外の必要条件はなく、容易に取り組みます。